

**平成 23 年度 理事会議事録****【平成 23 年度 第 2 回理事会議事録】**

開 催 日 時：平成 23 年 8 月 17 日(水) 11 時～12 時 30 分

場 所：新潟大学医学部保健学科 1 階 第 4 会場(大会議室)

理事(構成員数)：19 名

出 席 者 数：理事 17 名、監事 2 名

出 席 理 事：三村邦裕(理事長)、利光 央、吾妻美子、森田耕司、森山隆則(書面評決)、  
伊藤昭三、今井 正、岩谷良則、木村 明、小市加陽子(書面評決)、  
山藤 賢、城田恵次朗、谷口菊代、寺平良治、戸塚 実、永尾暢夫、  
細井英司、松下 誠、和合治久

出 席 監 事：信岡 学、渡邊正友

1. 開会の辞 三村理事長
2. 議事録署名人選任 森田理事、寺平理事
3. 報告事項

(1) 評議員推薦について

伊藤事務局長から 90 名の評議員の推薦があったことが報告された。議案審議で承認を求める予定。

(2) 第 6 回日本臨床検査学教育学会学術大会について

渡邊大会長から 214 名(学生を含む)の参加が見込まれ、78 演題のエントリーがあったことが報告された。

(3) 東日本大震災で被災した学生に対する寄付

日本臨床検査同学院および ASCP(米国の臨床検査認定団体)から東日本大震災で被災した学生に対する寄付の申し出があった。日本臨床検査同学院では 8 月 21 日の理事会で正式に決定する。本協議会の対応について、1. 使用状況を明確にする。2. いつ頃、どのような形で支給するのか、早めの支給をお願いしたい。3. 原発での被害は対象から外す。などの意見が出された。今後、該当者の審査内容などの詳細を決定する。

(4) 臨床微生物アンケート調査について

教育施設に対する現状調査を実施し、回収率は 76.7%であった。微生物学教育に関する問題点が挙げられた。これまでに臨地実習において病原性大腸菌 O157 感染事故についての報告があるが、原則として病原性のある微生物は使用しないことになっている。実習について、関係省庁から使用制限がかかることが懸念される。などの意見が出された。また、臨地実習先に対するアンケート案を作成中であることが森田理事より報告された。

4. 議案審議

(1) 第一号議案 「第 7 回日本臨床検査学教育学会学術大会」について

次期大会長 寺平理事から報告があった。

会 期：平成 24 年 8 月 22 日～24 日

場 所：名古屋国際会議場

テーマ：「新しい臨床検査技師教育の創成に向けて ー教育・研究の検証ー」

三村理事長から、日本臨床衛生検査技師会(日臨技)からの後援、および臨地実習先の技師の参加に

ついて提案があった。日臨技の後援はあった方がよいとの意見が岩谷理事から出された。今後、日臨技に申し入れをする。第7回学術大会では日臨技、中部技師会に後援を依頼する。また、現場の技師が学会参加する場合の参加費については代表者間で調整する予定。

- (2) 第二号議案 第8回日本臨床検査学教育学会学術大会について  
平成25年8月に大阪大学 岩谷理事にお願いする案が三村理事長より示された。この提案を受けて、岩谷理事から近隣の学校の協力が得られれば引き受ける方向で進めたいとの回答があった。
- (3) その他の議案
  - ① 協議会編国家試験模擬試験について  
現在23校77名で業務を行っているが、今後は協議会の業務として行う方針。吾妻副理事長を委員長として委員会を招集することとなった。
  - ② 評議員推薦について  
理事会で承認され、評議員会へ送られた。
  - ③ 顕彰の件  
佐藤健次氏、大澤 進氏を名誉会員、教育功労賞を昭和医専とする。永年精励賞については贈呈時期、副賞について調整を進める。
  - ④ 大学における臨地実習期間について  
指定規則は7単位であり5単位以上は行うべきとの意見が出された。今後、森田副理事長を委員長として委員会を立ち上げ、厚労省への要望書の作成準備にかかる。

## 5. 閉会の辞

以上

平成23年9月14日

議事録署名人 森田 耕司 印

議事録署名人 寺平 良治 印

---

## 【平成23年度 第3回理事会議事録】

日 時 : 平成23年10月26日(水) メール報告

### 1. 報告事項

- 1) 臨床検査技師養成大学における臨地実習教育の充実とそれに伴う承認・審査要件の変更に  
関する要望書について  
前回第2回理事会で大学における臨地実習期間について審議され、指定規則は7単位であるが5単位以上は行うべきとの結論に達した。その際に森田副理事長を委員長として、厚生労働省への要望書の作成を行うことになり、社団法人日本臨床衛生検査技師会 高田鉄也会長と打ち合わせを重ね、提出できるところまで来たため、今後要望書(添付書類)を厚生労働省へ提出することを報告した。

## 【平成 23 年度 第 4 回理事会議事録】

開催日時：平成 23 年 12 月 18 日(日) 11 時～14 時 30 分

場所：東京医科歯科大学 1 号館 9 階会議室

理事(構成員数)：19 名

出席者数：理事 18 名、監事 2 名

出席理事：三村邦裕(理事長)、利光 央、吾妻美子、森田耕司、森山隆則、伊藤昭三、  
今井 正、岩谷良則、木村 明、小市加陽子、山藤 賢、城田恵次朗、  
谷口菊代、寺平良治、戸塚 実、永尾暢夫、細井英司、松下 誠、  
和合治久(書面評決)

出席監事：信岡 学、渡邊正友

1. 開会の辞 三村理事長
2. 議事録署名人選任 岩谷理事、木村理事
3. 報告事項

(1) 第 6 回日本臨床検査学教育学会学術大会報告

渡邊大会長から入場者は 3 日間で延べ 234 名、その内一般参加は 163 名、学生参加は 71 名であったことが報告された。収支報告では 10,720 円予算額をオーバーした。厚労省から、懇親会費の決算額が予算額を超えているが、補助金を使用されているのではないかとの問い合わせがあり、当初の予算額を超えただけであると回答した。学生の懇親会参加については費用等で今後検討すべき課題が出された。

(2) 第 7 回日本臨床検査学教育学会学術大会について

寺平理事から近隣の教育機関と協力体制を取り、準備が進行中であることが報告された。新たに臨地実習指導者の発表の機会を設ける試みが示され、参加費を 3000 円とすることが提案された。また、懇親会費の予算確保が難しいこと、特別講演者として・・・先生を候補とすることなどが上げられた。

(3) 学術誌第 4 巻 1 号発行について

森山理事から第 6 回大会、50 周年記念行事に関する内容で準備中であることが報告された。佐藤乙一先生から寄稿頂いているが、依頼原稿でないため協議会で審議する必要がある。

(4) 義援金について(ASCP、同学院)

ASCP から \$ 10,500、一般社団法人日本臨床検査同学院から 300 万円のご寄付があった。寄付金には約 100 万円の税金が掛かるので、対策としての良案を求めた。支給金額、時期などについては奨学金運営委員会が検討する必要があるが、内容によっては理事会に諮ることが確認された。平成 24 年度新学期に向けて準備が進行中である。

(5) 各種委員会報告

① 教育問題検討委員会

ダブルライセンスについての問題点が上げられた。

② 臨地実習検討委員会

日臨技指導者の立場から臨地実習ガイドラインを作成したが、内容について本協議会に校閲頂きたいとの依頼があった。本委員会が日臨技との調整を務めることになった。

③ 指定校化委員会

大学の指定校化に関するアンケートの集計結果が森田理事から報告された。今年 2 月に何らか

の結論が各省から出される予定である。

④ 奨学金検討委員会

奨学金検討委員会が設置された。

(6) 顕彰について

名誉会員賞 2 名、教育功労賞 4 名、1 校の受賞が報告された。

(7) その他

- ① 臨床検査技師養成大学における臨地実習教育の充実とそれに伴う承認・審査要件の変更に  
関する要望書について

上記の要望書を日臨技と共同で厚生労働省に提出し、回答を待つことになった。

4. 議案審議

(1) 第一号議案 臨床検査関連学会との連携について

臨床検査学教育の資質向上を図るため、関連学会との連携を強化する案が岩谷理事から提案された。  
今後、主要科目担当教員の調査を行い分科会の設置を行う予定である。

(2) 第二号議案 事務局長補佐について

定款 47 条に基づき、東洋公衆衛生学院の小林隆志先生にお願いすることで承認が得られた。

(3) 第三号議案 第 8 回日本臨床検査学教育学会学術大会について

平成 25 年 8 月 19 日(月)から 21 日(水)までの 3 日間の予定で、大阪大学コンベンションセンター  
を確保したことが岩谷理事から報告された。

5. 閉会の辞

以上

平成 24 年 1 月 17 日

議事録署名人 岩谷 良則 印

議事録署名人 木村 明 印

【平成 23 年度 第 5 回理事会議事録】

日 時 : 平成 24 年 2 月 9 日(木) メール審議

1. 議案審議

1) 第一号議案 東日本大震災に関わる奨学金について

前回第 4 回理事会において義援金について奨学金委員会を立ち上げ、今後奨学金給付について  
検討していくことを報告した。後日委員会を開催し、添付書類の奨学金規定(内規)を作成し、  
2 月 13 日(火)まで理事に意見を求めたところ賛同を得、奨学金規定(内規)が承認された。

**平成 23 年度 評議員会**

開催日時：平成 23 年 8 月 17 日(水) 12 時 30 分～13 時 40 分

場 所：新潟大学医学部保健学科 4F 第 2 会場(B41 講義室)

参加人数：94 名

**1. 開会の辞(理事長挨拶)****2. 報告事項**

- 1) 平成 23・24 年度 評議員選任について
- 2) 第 6 回日本臨床検査学教育学会学術大会について
  - (1)開 催 日：平成 23 年 8 月 17 日(水)～19 日(金)
  - (2)会 場：新潟大学医学部保健学科
  - (3)大 会 長：渡邊正友(新潟医療技術専門学校)
  - (4)副大会長：岩淵三哉(新潟大学医学部保健学科)  
木村 明(北里大学保健衛生専門学院)
  - (5)実行委員長：寺平良治(藤田保健衛生大学)
  - (6)担 当 校：新潟医療技術専門学校
  - (7)主 催：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
  - (8)後 援：文部科学省 厚生労働省

上記についての報告があった。

**3. 議案審議**

- 1) 第一号議案 第 7 回日本臨床検査学教育学会学術大会について
  - (1)開 催 日：平成 24 年 8 月 22 日(水)～24 日(金)
  - (2)会 場：名古屋国際会議場
  - (3)大 会 長：寺平良治(藤田保健衛生大学医療科学部臨床検査学科 教授)
  - (4)副大会長：涌澤伸哉(名古屋大学医学部保健学科 教授)  
奥村伸生(信州大学医学部保健学科 教授)
  - (5)実行委員長：次期大会長
  - (6)担 当 校：藤田保健衛生大学
  - (7)主 催：日本臨床検査学教育協議会
  - (8)後 援：文部科学省 厚生労働省 予定

上記について説明があり、承認された。

- 2) 第二号議案 第 8 回日本臨床検査学教育学会学術大会について

- (1)大 会 長：岩谷良則(大阪大学大学院)
- (2)会 期：平成 25 年 8 月下旬

上記について説明があり、承認された。

## 平成 23 年度 臨時総会

開催日時：平成 23 年 12 月 19 日(月) 13 時～17 時

場 所：東京医科歯科大学 1 号館 9 階 特別講堂

加盟校数：76 校

出席校数：72 校(委任状を含む)

参加人数：99 名

### 1. 開会の辞(理事長挨拶)

### 2. 報告事項

#### 1) 第 6 回日本臨床検査学教育学会学術大会報告

渡邊大会長から入場者数(3 日間：234 名、その内一般 163 名、学生 71 名)および学術大会収支の報告があった。

#### 2) 第 7 回日本臨床検査学教育学会学術大会について

寺平大会長から近隣の教育機関と協力体制を取り、準備が進行中であることが報告された。同時開催する研修会について永尾研修委員長より報告があった。

#### 3) 学術誌第 4 巻 1 号発行について

森山編集委員長から第 6 回大会、50 周年記念行事に関する内容で準備中であることが報告された。

#### 4) 義援金について(ASCP、同学院)

ASCP から \$ 10,500、一般社団法人日本臨床検査同学院から 300 万円のご寄付があった。支給金額、時期などについては奨学金運営委員会が検討する必要があるが、内容によっては理事会に諮り、平成 24 年度新学期に向けて準備を行なっていることを報告した。

#### 5) 各種委員会報告

##### (1) 教育問題検討委員会

ダブルライセンスについての問題点が上げられた。

##### (2) 臨地実習検討委員会

日臨技指導者の立場から臨地実習ガイドラインを作成したが、内容について本協議会に校閲頂きたいとの依頼があった。本委員会が日臨技との調整を務めることになった。

##### (3) 指定校化委員会

大学の指定校化に関するアンケートの集計結果を報告した。

##### (4) 奨学金検討委員会

奨学金検討委員会が設置された。

#### 6) その他

##### (1) 臨床検査技師養成大学における臨地実習教育の充実とそれに伴う承認・審査要件の変更に關する要望

上記の要望書を日臨技と共同で厚生労働省に提出し、回答を待つことになった。

##### (2) 指定校申請について

神戸常磐大学医療検査学科の指定校申請について玉田学園法人事務局長 中村氏より報告があった。

### 3. 議長選任

議長 利光 央(美萩野臨床医学専門学校 校長)

### 4. 議案審議

#### 1) 第一号議案 事務局長補佐について

定款 47 条に基づき、東洋公衆衛生学院の小林隆志先生にお願いすることで承認が得られた。

#### 2) 第二号議案 第 8 回日本臨床検査学教育学会学術大会について

平成 25 年 8 月 19 日(月)から 21 日(水)までの 3 日間の予定で、大阪大学コンベンションセンターで行なうことを岩谷理事が説明し承認された。

#### 3) その他の議案

##### (1) 国家試験問題検討委員会

第 58 回国家試験問題検討委員会委員を選出し各会員校へ検討を依頼することに承諾を得た。

### 5. 名誉会員賞・教育功労賞 贈呈式

#### 1) 名誉会員賞

大澤 進、佐藤健次

#### 2) 教育功労賞

小田 力、狩野元成、合田 清、芝 紀代子、昭和医療技術専門学校

### 6. 講演

『つくば臨床検査教育・研究センターの役割と臨床検査技師教育環境変化に  
適応する新たな秩序とモデル事業の創設』

NPO 法人つくば臨床検査教育・研究センター 理事長 鈴木 悦 先生

### 7. 文部科学省・厚生労働省への『質問事項』及び各省からの指導・助言

文部科学省高等教育局医学教育課 医療技術係長 吉田将吾 様

厚生労働省医政局医事課 指導係 藤本 晃 様